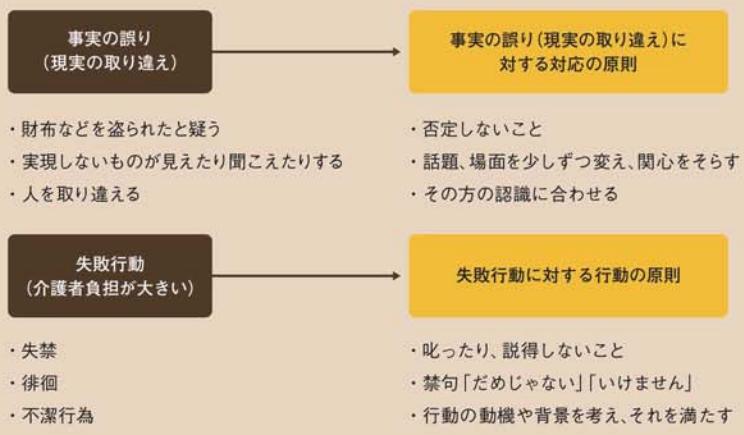


episode 03 認知症について

今 回は「認知症の症状に対する対応・介護方法」の基本的な実践法をご説明いたします。認知症高齢者の症状や行動はさまざまなものがありますが、大きく2つの特性に分けて考えてみます。一つは、「事実の誤り(現実の取り違え)」、二つ目は、「失敗行動」です。各々の問題が起きた時は、下のような原則で対応します。このような考え方のもとに具体的な症状、行動について示しています。認知症ケアで心掛けることは「自尊心を尊重すること」と言われています。

●認知症の症状・行動



●【症状1】財布や通帳など大事なものを盗られた(物盗られ妄想)

認知症高齢者が「財布がなくなった」等、大事にしているものを盗られたと騒ぎ出したとき、たいてい最初に疑われるのが身近な家族であったり、介護者の場合が多いようです。介護者にとっては身に覚えのないことを疑われてはショックなのですが、こういう場合、興奮して言い返すのは禁物です。自分の気持ちを落ち着かせて、無くしてしまったご本人自身が一番、困っているのだとということを理解してあげることが大切です。

【基本的対応】

- 自分が疑われたとしても「自分は盗っていない」と言い返したり興奮してはいけません。
- 自分の気持ちを落ち着かせて、無くした本人が困っているのだと理解しましょう。

【具体的対応】

- 一緒に探す事を提案して行動を起こしましょう。
- 入れる場所を決めておきましょう。
- 探しても無いことが分かっているものや、毎回時間をかけると大変な場合は、別の代用品を用意しておき渡して納得してもらいます。
- 財布などは小額を保持し、あとは施設側で管理しましょう。

●【症状2】存在しないものを見たり聞こえたりする(幻覚)

実際に、何もないのに何かを見たり、聞こえたりして、不安がたりすることがあります。常識からすると、誤りを訂正するのが正しい対応ですが、認知症高齢者には、このような常識は通用しません。実際に見えて不安がっているのだという気持ちを受け止めて理解しようという姿勢が大切です。

【その場で対応】

- 訴えを受け止めましょう。(本人には見えたり、聞こえたりしているので否定はしない。)
- 話のつじつまを合わせましょう。
- 本人が嫌がっているものを見るようなら、追い払ったり、片付ける格好をしてみましょう。
- 【禁句】
- ・そんなもの見える(聞こえる)わけがないでしょ。
- ・何も見えないし、聞こえません。勘違いでしょ。

【おさまってからの(日常から)対応】

- 照明の工夫によって部屋を明るくしましょう。
- 幻覚を誘発しているものがあれば取り除いておきましょう。
- 視力・聴力の障がいがあれば調整しましょう。

~自分らしく、幸福に生きるために知っておきたいこと~

●【症状3】食事をしたのに「食べてない」という。

食事をしたのに「食べてない」といって何度も食べ物を要求するのは、食べたことを忘れてしまう、また脳の満腹中枢が障害がされている、欲求不満を食べることで満たそうとした結果起こるもので、「いま食べたでしょ」といっても本人は納得できないのです。「これから準備するところだから、もう少し待ってね。」と言ったり、おやつ等を提供する等して食べることの満足感や期待感を満たしてあげることが大切です。



●【症状4】あてもなく、歩き回る。外に出ようとする。(徘徊)

あてもなく、歩き回ったり、外に出ようとする徘徊の対応は、介護者にとって大きな負担となります。しかし認知症高齢者には、それなりの理由が必ず存在します。徘徊の原因、欲求を冷静に考えて対応ていきましょう。

【基本的対応】

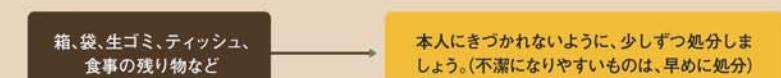
- 行動の制限はしないようにしましょう。
- どこに行こうとしているのか、何をしにいこうとしているのか理由を聞き出しましょう。
- 理由が分かれば、可能な限り、気持ちに添って対応します。
- 少しずつ、意識をそらすようにコミュニケーションを展開していきましょう。
- 高齢者の自尊心の尊重とベースを合わせることが大切です。

【具体的対応】

- 「どこへ行くのですか?よかったら一緒に行きましょう。」と声をかけ、行動理由を探ります。
- 「家に帰りたい」という理由であれば、「家には誰がいるの?」と尋ね、その返答内容から話題を少しずつ、自然な流れで変えて意識をそらしていきます。
- 意識が帰宅欲求から完全に離れた段階で、「では一緒に戻りましょうか?」と声をかけます。

●【症状5】何でもかまわず集める(収集癖)

認知症高齢者は、ゴミや必要な無い物を持ってきて、大事にしまい込むことがあります。しかし他人にはゴミや必要な無い物でも集めている本人には意味があるものなのです。こうしたことは一時的なものが多いので、害のないものは、しばらく様子観察をそっと見守りましょう。ただ腐ってしまう食料品や不衛生なものは、少しずつ気づかれないように廃棄しましょう。



【禁句】

- ・「汚いでしょ」「こんなもの必要ないでしょ」

認知症の方の介護というのは、経験した方でなければ、その負担の大きさは理解しがたいと思われます。その介護負担の大きさから、介護者の健康が損なわれることもあります。そのため介護者がいかに心にゆとりを持って、「頑張り過ぎない介護」を実践できるかが、ポイントとなってきます。また同じような思いで認知症介護を経験された方や現在、介護中の方との交流や情報交換等は「孤立しやすい」と言わわれている在宅での認知症介護者が「自分一人ではない!」「仲間がいる。」という気持ちになれるところで大分県内16か所で介護者たちの「集い」が定期的に開催されています。中には「若年性認知症 介護者の集い」「男性介護者の集い」等、介護状況にあった「集い」が開催されています。興味のある方や認知症介護で不安をお持ちの方など、お気軽にご参加してみてはいかがでしょうか。

【問合せ先】

大分県社会福祉介護研修センター内
認知症の人と家族の会 大分支部
担当者: 中野孝子

097-552-6897 (火~金: 10時~15時)

当事務所でも認知症に関して、ご質問やご相談も随時、受付しておりますので、お気軽にお問合せ下さい。

担当 / 藤井 伸彦

04

玉光苑新聞

HAPPY NEWS, SURPRISE NEWS, GREAT NEWS

vol.06

2015 6月号 発行元/玉光苑

NEW DAY, NEW LIFE

利用者本位を第一に!



「家づくり」をテーマに、優しく親しみのあるロゴタイプを制作しました。

マーク部分には、「玉光苑」の玉(丸)を用い、丸の点線で家を作っています。たくさんの優しいいい想いが運び、「玉光苑」を作っているというイメージです。

ロゴの部分は全体的に丸を帯び、少し空間をもつけて制作しました。そうすることで、「余裕や自由がある」といったイメージを表現しています。

全体的には丸みを帯び、少し若さを感じさせつつ、色味をシックなものに、落ち着かせました。

平 成27年4月 法人待望の玉光苑改築工事が皆様のお力添えで竣工いたしました。改めまして関係各位のご協力に感謝を申し上げます。そして、玉光苑の素晴らしい人材として6名の新任職員を新しいホールで迎えました。辞令交付式当日、大いに羽ばたいて頂けることと確信致しましたとおり、日々成長していく姿に期待をし、新任職員の輝く未来を感じつつ、利用者様の穏やかな暮らしを描いております。

この地域で生まれ、育ち、最期まで地域で暮らすことが出来る「家づくり」への思いを新しい建物に込めました。新たな価値観をもって事業展開を行なう地域社会のためにお役に立ちたいと存じます。新年度の事業計画としては、法人理念で

ある「利用者本位」を実現する1つのケアの手法としてユニットケアを導入し、入居する前の家での生活を入居後の生活として継続できるケアを提供してまいります。従来型、ユニット型それぞれの特徴を活かした介護サービスの向上を図るために職員研修、各種委員会等を充実させ更に一段の飛躍を期しております。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

社会福祉法人 靈山会 理事長
特別養護老人ホーム 玉光苑 施設長
秦 勝子

01

二期工事完了!

玉光苑が「家づくり」に込めた想い

入居者本位とは、そのヒト(人間)らしさと自分らしく生きること。「家」には、いろんなイロやカタチがあるように、「ヒト」にも、いろんな性格や生活があります。1期・2期工事ともに、この思いを「家づくり」というカタチで建物に込めました。そして、10人いれば10人の暮らし(リズム)があるように、それぞれの生活をここで暮らしていただけます。暮らしとは、「日は大地から昇り、また大地に沈む。」それが日々継続されるということ。今日の1日にケアの視点において、入居前と入居後の暮らしの継続を目指します。



大きなステージで
出し物もあります。

入居者様の 穏やかな暮らしをサポートします

入居者様の日々の健康状態を、専門職スタッフ全員で共有しています。



ゆっくりとくつろげる
和室もあります。



「施設」ではなく、
「家」のような空間を目指しました

1・2階部分は「光のまち」「玉のまち」「心のまち」「虹のまち」の4つのユニットで構成されています。



館外に足湯を設置! 足湯は高血圧症、糖尿病などにも効果が期待できます。

NEW STAFF //

玉光苑に新しい仲間が増えました。
これからどうぞよろしくお願ひします!



トレーニングも
はかどるわ〜!



これからも
よろしくお願ひします!

